

図書館だより

令和2年
冬号
久世ふれあいセンター図書館
TEL931-0035

あたらしい年を迎えました。今年は、「子年」ですね。みなさんも、今年もすばらしい一年になりますように・・・
久世ふれあいセンター図書館職員一同、みなさんが来てくれるのをまっています！

ていがかねん

「もりのてがみ」 片山 令子 さく 福音館書店

さむいさむいふゆの日。ひろこさんは、ストーブのそばでたくさんのともだちにてがみをかきました。「はるになってもりにすみれがさいたらもみのきの下でまっています。」はるになってひろこさんは、ともだちにあえたかな。



ぼちぼちいこか



「ぼちぼちいこか」 マイク=セイラー さく いまえ よしとも やく 偕成社

かばくんはしょうらいのしごとについてかんがえています。しょうぼうし、ふなのり、パイロット・・・でも、なんだかムリみたい。かんさいべんがユーモラスなえほんです。

中学年

「太陽の大研究」 あがた 秀彦 かんしゅう PHP研究所

太陽とは、いったいどんな星なのでしょう？ 私たちにとって太陽はまさに「母なる星」です。太陽からの光によって、生物が生きていくために必要な地球環境が保たれています。この本を読んで、もっと太陽についてくわしくなろう！



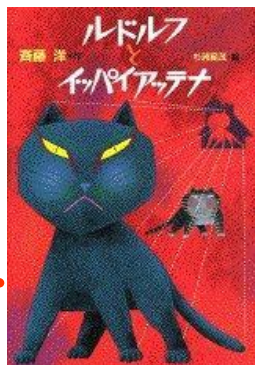
「いやし犬 まるこ」 すけたけ 心 著 岩崎書店

“犬すて山”で生まれたまっしろな子犬 まるこは、親切なオーストリア人に拾われ、セラピードッグになる訓練を受けます。まるこは、セラピードッグになれたのかな。犬と老人ホームに住むお年寄りとの心の交流を描きます。

高学年

かなくり しそう
「金栗 四三」 佐野 慎輔 著 講談社

皆さんは、金栗四三って知っていますか。今から、100年以上前の1912年の第5回ストックホルム・オリンピックに日本人として初めて出場したマラソン選手で、「日本のマラソンの父」と言われた人です。どんなことをした人なのかな。



「ルドルフとイッパイアッテナ」 齊藤 洋 作 杉浦 範茂 絵 講談社
黒いのらねこ“ルドルフ”と“イッパイアッテナ”がくり広げる友情と冒険の物語。
のらねこの少し奇妙で、ゆかいな毎日をのぞいてみませんか。

～図書館からのお知らせです～

★「おたのしみ会」を、毎月第3日曜日（1月19日、2月16日、3月15日）午後3時からしています。対象は、幼児から小学校低学年です。ぜひ、来てくださいね。

★図書特別整理のため、2月10日（月）から12日（水）まで、「臨時休館」します。

きょうとしくぜ としよかん
京都市久世ふれあいセンター図書館

■開館時間

月曜・木曜：午前9時30分～午後7時

水曜・金曜・土曜・日曜・祝日・12月28日：午前9時30分～午後5時

※児童だけの利用は午前9時30分～午後5時まで

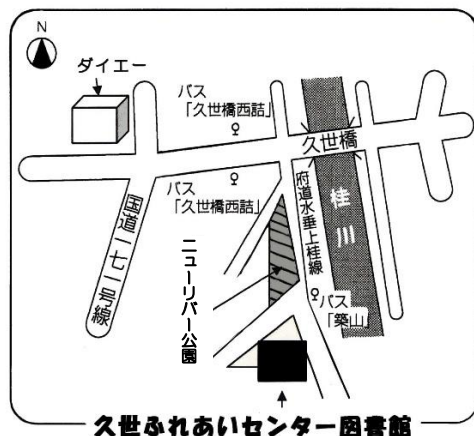
■休館日

毎週火曜日（火曜日が祝日の場合はその翌平日）

年末年始

住所：〒601-8203 京都市南区久世築山町328 久世ふれあいセンター1階

電話：075-931-0035 FAX：075-931-0026



ホームページもみてね！



くぜふれあいこちゃん